

がく て び かてい学しゅうの手引き



みづか まな こ
自ら学ぶ子をめざして



1 はやね・はやおき・あさごはん・はみがき

きほんてきせいかつしゅうかん
＜基本的生活習慣＞

2 じかん時間をきめて、まいにち毎日きまったばしょで。テレビをけして。

がくしゅうかんきょう
＜学習環境＞

3 まずは、しゅくだい。ほかにもできたら、じしゅがく自主学しゅう。

がくしゅうしゅうかん ていちやく
＜学習習慣の定着＞

がく
◎かてい学しゅうのやくそく いえ家のかたとそうだんしてか書きましょう。

ねん 1年	くみ 組	
ねん 2年	くみ 組	

ち ば し り つ お ち し ょ う が っ こ う
千葉市立越智小学校

じどうのみなさんへ

めあて・・・学校で学しゅうしたことをしっかり みにつける。

○すすんでおこないましょう。

○まずは、しゅくだいから とりくみましょう。ほかにもできたら、自主学しゅうを。

○毎日10分から20分は、学しゅうしましょう。

はじめる前に

★家に帰ったら、まず、れんらくちょうや学校からのおたよりを、家のかたにわたしましょう。

★つくえなど学しゅうするばしょのせいりせいとんをしましょう。

★正しいしせいで学しゅうしましょう。

じしゅがく 自主学しゅうのヒント 【国語】



<音読>

- ・毎日、れんしゅうしましょう。おぼえてしまうくらいれんしゅうできるといいですね。
- ・ようすや気持ちを考えながら、はっきりとした声で、読みましょう。

<ひらがな・かたかな・かんじ>

- ・正しい書き順で、形をととのえて書けるようにしましょう。
- ・「とめ」、「はね」、「はらい」に気をつけて、ていねいにくりかえしれんしゅうしましょう。

<読書>

- ・いろいろなしゅるいの本を読みましょう。

<日記・かんそう文>

- ・たのしかったことや思い出にのこったことなどを日記に書きましょう。
- ・本を読んでかんじたことや考えたことを、書きましょう。

さんすう 【算数】

- ・計算のれんしゅうをくりかえし しましょう。
- ・にているもんだいを作り、といてみましょう。

そのほか

- ・つぎの日の時間わりやもちものをそろえましょう。
- ・ふでばこのなかみをたしかめましょう。

(けずったえんぴつ5本、赤青えんぴつ1本、けしゴム1こ、名前ペン、じょうぎ)

※見えるところにはって毎日のかてい学しゅうにやくだてましょう。



保護者の皆様へ

1・2年生の家庭学習について

低学年では

学校で学習した内容の定着と家庭学習の習慣づけを図るため、家庭学習の時間は、「学年×10分」が目安といわれています。1年生なら10分間、2年生なら20分間くらいで終わる量が適当です。少し短いと感じるかもしれませんが、大切なのは毎日行うこと、机に向かう習慣を付けさせることです。

時間のめやす

10分×学年

10～20分

家庭学習の習慣づけ

(1) 家庭学習を習慣化するためのポイント

- 毎日必ず学習させましょう。(できれば学習する時間帯を決めて)
- はじめに机の上を整頓させてください。
- テレビを見ながらなど、「ながら学習」は避けるようさせてください。
- まず宿題に取り組ませ、余裕があれば、自主学習に取り組ませましょう。
- 姿勢や鉛筆の持ち方などにも注意させましょう。



(2) 発達段階による家庭学習のめやす

低学年	中学年	高学年
○学校の宿題はできる。 ○宿題以外の学習にも、興味や意欲を持つ。	○学校の宿題は確実にできる。 ○宿題以外にも、少しずつ自主的な学習ができる。	○宿題が出なくても基本の学習を進んで行うことができる。 ○自分の興味や必要性に合わせた自主学習ができる。

(3) 家庭学習の時間のめやす

- (10分×学年)程度が目安です。…例えば、6年生なら 10分×6＝60分
 - ・宿題の分量により、宿題だけを行う日、自主学習も行う日と変えて構いません。
 - ・習い事等があり自主学習ができないときでも、宿題には必ず取り組ませましょう。

(4) 家庭学習の方法(下のような学習を参考にしてください。)

国語	算数	その他(社会・理科など)
・漢字練習 ・意味調べ ・日記 ・音読・視写・詩の暗唱 ・感想文	・計算練習 (ドリル・教科書の問題) ・算数日記(今日の学習内容を自分でまとめる。) ・習った学習の問題作り	・勉強したことに関係することを資料などで調べる。 ・興味を持ったことを調べる。 ・学習内容をもう一度ノートにまとめる。
日常生活	・読書に取り組ませましょう。 ・わからない言葉、漢字などを辞書で調べる習慣を付けさせましょう。 ・漢字・ローマ字・アルファベット・かけ算九九などの表、地図や地球儀、図鑑などを身近に置き、様々なことに興味を持つきっかけづくりをしましょう。 ・自然や生き物とふれあいを果たせ、観察させてみましょう。	

お願い

☆自分から進んで机に向かうこと、集中して取り組むことを習慣付けさせましょう。

☆やる気の源は、ご家庭での温かい助言や励ましの言葉です。できたときには「よくできたね。」などの声を掛け、たくさん褒めてあげましょう。次も頑張ろうという意欲につながります。

☆はじめは、宿題や持ち物の確認を一緒に行ってください。そして、徐々に自分でできるように支援していきましょう。